

日本地域学会ニューズレター

令和7年 no.1

令和7年3月31日

目 次

I. 会長挨拶	... 2
II. 第62回日本地域学会年次大会(令和7年10月12~13日)のご案内 論文報告の募集について	... 3
III. 総会報告 東北学院大学で開催された日本地域学会総会についての報告	... 4
IV. 理事会報告 令和6年度第4-9回および令和7・8(2025・2026)年期 新理事会	... 5
V. 委員会報告	... 9
1. 学会賞選考委員会	
2. 優秀発表賞選考委員会(受賞者の紹介)	
3. 機関誌編集委員会	
VI. 会費納入のお願い 令和7年度会費請求額, 会費早期納入の特典, Web会員について	... 10
VII. 国際地域学会関連会議のお知らせ	... 11
VIII. 学会賞候補者推薦の募集	... 11
IX. 会員の異動	... 13

I. 会長挨拶

日本地域学会
会長 木南 莉莉

昨年12月に開催されました2025・2026年期の新理事会におきまして、新理事の皆様のご推挙により、日本地域学会（Japan Section of Regional Science Association International）の会長を務めさせていただくことになりました。副会長の浅見泰司先生、吉田登先生、中山恵子先生、及び常任理事・理事・監事・名誉理事の先生方のご協力を賜りながら、長い歴史のある日本地域学会のより一層の発展に力を尽くしたいと思っております。

地域科学（Regional Science）は、河野・氷鮑（1980, p.221）によれば、「近代経済学をはじめとして工学、経済地理学、社会学、行政学など多くの分野が、各専門分野の観点からはもちろんのこと、お互いに共同・協力して学際的（interdisciplinary）に地域的課題を解明することを主たる目的とする極めて斬新な学問領域である。」とされています。本学会は諸先輩のご尽力で1962年に創設され、国際地域学会（Regional Science Association International）傘下の学術団体として60余年の間、地域や地域間で生じる現実の課題をテーマとした学際的協働、専門分野の壁を越えた活発な議論、新しい研究手法のたゆまぬ探求を続けてきました。我々は先達が築き上げてきた学術的基盤・成果を享受していると同時に、新しい学問への知的好奇心と現実社会の要請に応えようとする使命感を持ち続ける気風にも恵まれています。会員の皆様には研究成果を発表する場として、国内年次大会や国際大会（PRSCO、RSAI world congress等）があり、研究成果を公表するツールとして学会機関誌の『地域学研究』と英文ジャーナル（Asia-Pacific Journal of Regional Science）及び英文専門書シリーズ（New Frontiers in Regional Science: Asian Perspective）がありま

す。そして、会員の皆様による国内外の専門雑誌への掲載論文及び専門書の量と質によって、日本地域学会の学会としての成熟度の高さが示されていると考えられます。

一方、今日の情報通信や交通手段の飛躍的な革新に伴って、経済のグローバル化が進んでいると同時に、気候変動・環境破壊・地域格差・局部的紛争・感染症をはじめとする深刻な問題が地球規模で多発しています。また、日本国内でも少子高齢化・東京一極集中・インフラの老朽化・訪日外国人や移民の受け入れなどの新たな地域課題が生じています。このような複雑で不確実性の高い問題に直面する状況のもとで、地域科学研究はグローバルな視点に基づいて地域的課題とそのメカニズムの解明及び課題解決のための政策探究が求められています。新しい課題への挑戦は新たな学問的飛躍につながると思われますが、同時に、本学会は次なるステージを目指すことが必要となります。

日本地域学会の設立メンバーのお一人であり、第3代会長を務められた河野博忠先生は『地域科学50周年の歩みと展望』の中で、新進気鋭の若手研究者が世界の舞台で活躍し、“世界の地域科学展望”を完成し、後世への伝承の役割を担うことを期待されました。COVID-19の蔓延による研究活動へのダメージからの回復はもちろん、若手研究者による国際的な発信強化を図るために、国内大会において海外からの参加者の招聘や英語セッションの拡充、PRSCOやRSAI world congressでの発表及び特別セッションの立案などに力を入れることが求められます。

グローバルな視点から地域科学の新たな地平を切り開くことが日本地域学会の使命であり、会長として微力ながら、その発展に尽力する所存でございますので、先輩諸氏及び会員皆様のご理解とご協力を心よりお願い申し上げます、会長の挨拶とさせていただきます。

II. 第 62 回日本地域学会年次大会(令和 7 年 10 月 12~13 日)のご案内

令和 7 年度 (2025 年) 日本地域学会第 62 回年次大会は、関西大学において下記の通り開催されます。会員諸賢におかれましては、論文報告、特別セッションの編成等、奮ってご参加下さい。

記

開催日：令和 7 年 10 月 12 日(日)~13 日(月)

開催校：関西大学

会場：関西大学千里山キャンパス

564-8680 大阪府吹田市山手町 3 丁目 3-35

大会準備委員会：委員長 北詰恵一(関西大学環境都市工学部・教授)

セッション：

共通論題

- a) 地域経済・地域雇用
- b) 産業集積・情報
- c) 環境評価・環境政策
- d) 地域環境・地球環境
- e) 国際経済政策
- f) 交通・コミュニケーション
- g) 経済分析・モデル分析
- h) 意識分析・行動分析
- i) 地方分権・地方財政・道州制
- j) 持続可能都市・地域システム
- k) 都市再生・地域再生
- l) 沿岸域管理・海洋政策
- m) ツーリズム
- n) アジア経済

一般論題

立地、人口移動、地域経済等の地域学一般の課題すべて

以上

論文報告・特別セッション編成の募集

論文報告と特別セッションの編成を希望される方は、下記の事項を明記し、4 月上旬公開予定の申込サイトに必要事項を入力し応募して下さい。

い。応募締切は令和 7 年 4 月末または 5 月上旬を予定しています。

[論文報告] 応募の必要事項 (事務局体制変更の関係により、今年度より一部変更の可能性があります)

1. 論文タイトル
2. 上記が和文の場合には、同英文訳
3. 著者名、所属 (複数の場合には発表者を明記)
4. 同上英文表記
5. Abstract 和文 (700 字以内) および英文 (200words 以内) の双方を提出
6. 対応責任者氏名、連絡先住所、tel, fax, e-mail アドレス等

※重要：今大会より討論者 (2 名：会員に限る) は発表者自身が依頼することになりました。詳細については、発表申込開始時を目処に学会ウェブサイトでお知らせいたします。

[特別セッション編成] 応募の必要事項

1. セッションタイトルおよびセッションの意図、内容等の概要 (和文 300 字以内、英文 100words 以内)
2. 座長 (1-2 名の会員) 氏名、所属、同英文表記
- 3.1 セッション当たり 3-4 編の報告を目途に各論文についての上記論文報告希望に準ずるデータ。但し、討論者は各々の論文について 1 名でも可。
4. 応募責任者氏名、連絡先住所、tel, fax, e-mail アドレス等

論文報告等に関する問い合わせおよび応募は下記学会事務局宛にお願いします。

日本地域学会事務局 (2025 年 4 月 1 日以降)

〒170-0013

東京都豊島区東池袋 2 丁目 39-2-401

(株)ガリレオ 学会業務情報化センター内

TEL : 03-5981-9824

FAX : 03-5981-9852

E-Mail : g056jsrsai-support[at]ml.gakkai.ne.jp

[at]を@に置き換えて下さい

年次大会の参加申込み

大会および懇親会の参加申込み方法は、次号のニューズレターおよび学会ウェブサイトにてお知らせする予定です。

学会 HP: <http://jsrsai.jp/ja/>

III. 総会報告

松本会長より挨拶、同会長を議長として審議および報告が行われました。つづく学会賞授与式では、徳永学会賞選考委員長からの選考経過報告の後、松本会長より受賞者に各賞が授与され、総会は無事閉会しました。当日の次第、審議及び報告の内容は以下の通りです。

1. 議題

1) 新入会員・退会希望者の承認

水野谷総務担当常任理事より報告があり、今期新入会員個人会員 47 名、退会会員個人会員 45 名について承認された。この結果、正会員 1,027 名、名誉会員 29 名、法人会員 5 団体となった。

2) 令和 5 年度の事業報告の承認

内田理事・事務局次長より報告があり、承認された。

3) 令和 5 年度の収支決算の承認

櫻井財務担当常任理事より報告があった後、廣野監事より監査が完了している旨報告があり、承認された。

4) 令和 7 年度の事業計画の承認

内田理事・事務局次長より報告があり、承認された。

5) 令和 6 年度の収支予算（修正案）の承認

櫻井財務担当常任理事より報告があり、承認された。

6) 令和 7 年度の収支予算の承認

櫻井財務担当常任理事より報告があり、承認さ

れた。

7) 長期会費未納者の取り扱いに関する規程について

水野谷総務担当常任理事より報告があり、承認された。

8) 令和 7・8 年任期理事候補者の承認

水野谷総務担当常任理事より報告があり、承認された。

9) 第 62 回（2025 年）年次大会の開催地、開催校等の承認

水野谷総務担当常任理事より関西大学で行うことが報告され、承認された。その後、大会実行委員長を務める関西大学北詰教授より大会概要案の説明があった。

10) 第 63 回（2026 年）年次大会の開催地、開催校等の取扱いの承認

水野谷総務担当常任理事より慣例に従い東日本の大学と開催の交渉を行うことが提案され、今後の取り扱いについては事務局に一任することが承認された。

11) その他

特になし

2. 報告事項

1) 『地域学研究(54 巻)』の編集

浅見副会長・機関誌編集委員長より編集状況に関する報告があった。

2) Asia-Pacific Journal of Regional Science (APJRS) について

氷鮑企画担当理事・APJRS Editor in Chief より編集状況に関する報告があった。

3) RSAI の動向

渋谷理事より RSAI 理事会審議内容等の報告があった。

4) PRSCO の動向

鈴木庶務担当常任理事より 2024 年韓国大会実施と今後の大会予定の報告があった。

5) その他

特になし

3. 学会賞授与式

1) 選考経過報告

徳永学会賞選考委員長より学会賞選考委員会における選考経過について説明があった。

2) 第32回学会賞授与者報告

松本会長より以下の各賞が授与され、受賞者による受賞挨拶があった。

功績賞：萩原清子，藤岡明房

論文賞（大石泰彦賞）：橋本浩幸，内藤徹

奨励賞：該当なし

著作賞：白素香，辻本勝久，河野博忠，氷鮑揚四郎，高橋秀悦，柳原光芳，細谷圭，篠崎剛

学位論文賞（博士）：岡澤由季，長宗武司

（熊田禎宣賞・修士）：該当なし

R4 最優秀発表賞（第16回）：玉井和輝

4. その他

5. 閉会の辞

IV. 理事会報告

令和6年度第4回 理事会(持回り)

日時：令和6年9月12日～9月18日(水)

議題

1. 入退会者の承認

個人会員入会15名と退会5名を諒承。この結果、正会員1,054名，法人会員5団体となった。

報告
1. 日本地域学会第33回著作賞授賞の件
著作賞64号と65号の授賞決定が報告された。

令和6年度第5回 理事会(持回り)

日時：令和6年9月24日～9月26日(木)

議題

1. 入会者の承認

個人会員入会1名を諒承。この結果、正会員1,055名，法人会員5団体となった。

報告

2. 日本地域学会第33回著作賞授賞者追加の件

令和6年度第4回学会賞選考委員会により著作賞65号に編者の一人である細谷圭氏を追加することが決定された旨報告された。

令和6年度第6回 理事会

日時：令和6年10月4日(土) 17:30～19:30

場所：東北学院大学土樋キャンパス ホーイ記念館2階会議室・第2会議室

出席者：朝日，浅見，石橋，内田，鐘ヶ江，木南(莉)，國光，齊藤，櫻井，佐々木，篠崎，洪澤，鈴木，高野，多和田，徳永，野崎(謙)，氷鮑，福井，藤岡，正岡，松本，水野谷，柳原，Yabar，藪田，吉田の各理事(ただし，大内田，梶井，戸田，原，三橋の各理事より委任状付託；以上理事27名出席)；オブザーバとして，臼井，河野，高橋の各名誉理事，廣野監事，小川，池川，古澤，崔，黛の各幹事，内村事務局秘書

議題

1. 新入会員・退会希望者の承認

水野谷総務担当常任理事より，個人会員入会希望者1名についての説明があり，これを諒承。この結果，正会員1,056名，法人会員5団体となった。

2. 長期会費未納者の取り扱いに関する規程について

水野谷総務担当常任理事より，長期会費未納者の取り扱いに関する規程について説明があり，一部文言の訂正の提案があった後，これを諒承。

3. 令和6年度第61回年次大会の運営

1) プログラムの変更 一覧

2) 最新版プログラム

3) 総会式次第

4) その他

実行委員長の篠崎理事より挨拶があった。内田事務局次長より大会のタイムスケジュールやシンポジウムなどの詳細について説明があり，これを諒承。

水野谷総務担当常任理事より，総会式次第の詳細

細について説明があり、これを諒承。

4. 令和7・8年任期理事候補者について

水野谷総務担当常任理事より、令和7・8年任期理事候補者に関する説明があり、これを諒承。氷鉋企画担当理事より、今後の理事選出方法の変更に関する提案と説明があり、これを諒承。

5. 名誉理事の推薦

氷鉋企画担当理事より、名誉理事の選考について説明があり、これを諒承。

6. 年次大会次期開催地・開催校

内田事務局次長より、関西大学での年次大会の開催について説明があり、これを諒承。

7. 年次大会次々期開催地・開催校

水野谷総務担当常任理事より、慣例に従い東日本の大学と開催の交渉を行う旨説明があり、これを諒承。

8. その他

篠崎理事より、年次大会での懇親会の流れについて説明があった。

渋澤理事より PRSCO の事務局体制の今後についての説明と提案があった。

報告事項

1. 『地域学研究』第54巻1号の編集

浅見学会誌編集委員長より、編集状況についての報告があった。また、2号に関しても発刊準備が進んでいるとの報告があった。

2. Asia-Pacific Journal of Regional Science (APJRS)について

氷鉋企画担当理事より、編集状況と今後の発刊予定についての報告があった。また、今後のCiteScoreとIFに関する予測の説明がなされた。

3. RSAIの動向

渋澤理事より、RSAIの理事会および新事務局長に関する報告があった。

4. PRSCOの動向

鈴木庶務担当常任理事より、PRSCO実施の説明があった。次年度の2025スリランカ大会の開催についてエントリースケジュールの説明があった。ま

た、2026年度以降の候補地に関する報告があった。また、鐘ヶ江理事から会長交代に関する報告があった。

氷鉋企画担当理事より、RSAI Election - COUNCILLOR-AT-LARGE 2025での投票に関し、日本地域学会と関係の深い PRSCO から立候補しているインドカルカッタ大学の Sumana 氏を応援することについての提案と確認がされた。

5. 事務局委託の件

内田事務局次長より事務局委託費用の見積もりについての説明があった。

6. その他

松本会長より、次期理事の選出に関する意見募集があった。

令和6年度第7回 理事会(持回り)

日時: 令和6年11月25日~11月27日(水)

議題

【大学改革支援・学位授与機構】国立大学教育研究評価委員会専門委員及び機関別認証評価委員会専門委員の候補者の推薦の件

松本昭夫会長、木南莉莉副会長、鐘ヶ江秀彦副会長の3名を推薦

令和6年度第8回 理事会

日時: 令和6年12月8日(日) 12:30-14:00

場所: 一橋学術総合センター102・103 およびオンライン (Zoom)

出席者: 朝日, 浅見, 石橋, 内田, 鐘ヶ江, 木南(莉), 櫻井, 佐々木, 渋澤, 鈴木, 中山, 氷鉋, 福井, 正岡, 松本, 水野谷, 柳原, の各理事, 北詰第62回大会実行委員長, (ただし, 大内田, 國光, 篠崎, 高野, 徳永, 野崎(謙), 藤田, 三友, 吉田の各理事より委任状付託; 以上理事26名出席); オブザーバとして, 臼井, 河野, 藤岡, 三橋, 高橋名誉理事, 廣野監事, 池川, 岩見, 小川, 崔, 古澤, 黛の各幹事, 内村事務局秘書

議題

1. 新入会員・退会希望者の承認

水野谷事務局長より、個人会員入会 2 名と退会 5 名の説明があり、これを諒承。この結果、正会員 1,024 名、名誉会員 29 名、法人会員 5 団体となった。

2. 令和 6 年度第 61 回(2024 年)年次大会報告

柳原理事より第 6 回(2024 年)年次大会の決算内容について説明があり、これを諒承。

3. 第 62 回(2025 年)年次大会準備状況について

北詰第 62 回(2025 年)年次大会実行委員長より、関西大学での次期年次大会(10 月 12 日 13 日を予定)の準備状況について説明があり、これを諒承。

4. 事務局委託について

内田事務局次長より、事務局委託先の決定に関する説明があった。委託した場合の試算について説明があった後、議論がなされ、これを諒承。

5. 学会運営の改革について

内田事務局次長より、学会運営の電子化、署名捺印の廃止、学会賞の審査人数の変更(3 名から 2 名)、ニューズレターの郵送の廃止(オンラインのみ)、学会費の前納制の廃止(年次大会の発表者は納入期限を年度中 9 月末まで、その他は年度末 3 月末まで)、新たな見積りに基づく「地域学研究」印刷発注先の継続についての説明があり、これを諒承。

6. 『地域学研究』セット販売の推進

水野谷事務局長より、『地域学研究』セット販売の推進について依頼があり、これを諒承。

7. 新入会員勧誘キャンペーンの推進

水野谷事務局長より、新入会員勧誘キャンペーンの推進について、各地域の担当の確認がなされ、これを諒承。

8. その他

特になし

報告事項

1. 事務局の合理化について

内田事務局次長より、今後の事務局の合理化に関する課題について、次回以降の理事会で検討をお願いしたい旨の説明があった。

2. 『地域学研究』第 54 巻および 55 巻の編集
浅見機関誌編集委員長より、『地域学研究』第 54 巻への掲載論文発刊の見通しの報告と、現時点での第 54 巻の採択状況に関する報告があった。

3. Asia-Pacific Journal of Regional Science (APJRS)について

水鉤企画担当理事兼 APJRS Editor in Chief より、APJRS 各号の編集および発刊状況、採択率および Site Score, Impact Factor の状況について説明があった。また、Special Issue の編集状況についての説明があった。

4. 名誉会員推薦委員会報告

名誉会員推薦委員長の臼井名誉理事より、令和 6 年度第 1 回名誉会員推薦委員会において第 44 代名誉会員として萩原清子会員を推薦することが決定された旨の報告があった。

5. 令和 6 年度第 2 回学会優秀発表賞選考委員会及び第 5 回学会賞選考委員会報告

水野谷事務局長より、2024 年度第 61 回年次大会における優秀発表賞の受賞者の決定および最優秀発表賞選考に関わる審査員選出に関する報告がなされた。また、今後の学会運営の改革に関連し、学会賞各賞に関して、推薦書における署名捺印の廃止、最優秀発表賞選考に関わる審査員を 3 名から 2 名に変更、学会賞の副賞の廃止等の学会賞関連各規程、細則の改正に関する報告がなされた。優秀発表賞・最終優秀発表賞を除く令和 7 年度学会賞各賞の推薦を令和 7 年 4 月開催の理事会まで受け付けする予定である旨報告があった。

6. RSAI の動向

渋谷澤理事・RSAI 会長より、今後の RSAI の運営と大会開催に関する報告があった。

7. PRSCO の動向

鈴木庶務担当常任理事・PRSCO 事務局長より、11 月に行われた PRSCO に関するオンライン会議の報告と説明があった。また、2025、2026、2027 年の各年に予定されている大会の準備状況につい

て説明があった。更に今後のRepresentativeおよび次回理事会に関する報告があった。

8. その他

氷鉋理事より New Frontiers in Regional Science: Asian Perspectives が高い評価を得ている旨の報告があった。

今期で理事を退任される、正岡理事よりご挨拶があった。

令和6年度第9回 理事会(持回り)

日時: 令和7年2月4日～2月6日(木)

議題

1. 日本地域学会会費規程および日本地域学会の会費を定める規程改定が承認された。
2. 日本地域学会学術委員会規程改定および日本地域学会学術委員会規程細則制定が承認された。

令和6年度第10回 理事会(持回り)

日時: 令和7年2月26日～3月3日(月)

議題

1. 退会希望者の承認

自動退会者 474 人を含む 480 名の退会が承認された。

この結果、正会員 544 名、名誉会員 29 名、法人会員 5 団体となった。

令和7・8(2025・2026)年期 新理事会

日時: 令和6年12月8日(日) 14:00-14:40

場所: オンライン(zoom)

出席者: 浅見, 石橋, 内田, 鐘ヶ江, 木南(莉), 近藤, 櫻井, 佐々木, 洪澤, 鈴木, 多和田, 中山, 氷鉋, 福井, 松本, 黛, 水野谷, の各理事(ただし, 大内田, 篠崎, 徳永, 藤田, 三友, 吉田の各理事より委任状付託; 以上理事 23 名出席); オブザーバとして, 白井, 河野, 高橋, 藤岡, 三橋名誉理事, 池川, 岩見, 小川の各幹事, 内村秘書

議長の選出

水野谷令和 5・6 年期総務担当常任理事より, 議長の選出について確認があり, 慣例により松本令和 5・6 年期会長が議長に選出された。

報告事項

1. 令和7・8(2025・2026)年期 理事会の構成(報告, 確認)

水野谷令和 5・6 年期総務担当常任理事より, 令和7・8(2025・2026)年期理事及び名誉理事の構成について報告があった。続いて, 近藤, 黛新理事から自己紹介があった。

議題

1. 令和7・8(2025・2026)年期 役員人事

氷鉋理事より, 令和5・6年期まで2期副会長を務め, また RSAI Council メンバーとして学会に貢献してこられた木南(莉)理事を会長に推薦したいとの提案があり, これを諒承。木南(莉)理事がこれを受諾し, 会長が選出された。

木南(莉)新会長より, 副会長として中山理事, 浅見理事, 吉田理事が推薦され, これを諒承。

木南(莉)新会長より, 総務担当常任理事として水野谷理事, 財務担当常任理事として内田理事, 庶務担当常任理事として鈴木理事が指名され, これを諒承。

木南(莉)新会長より, 事務局次長として内田理事, 企画担当理事として氷鉋理事, 国際担当理事として鐘ヶ江理事, 事務局・財務改革担当に福井理事が推薦され, これを諒承。

木南(莉)新会長より, 監事として廣野会員及び奥田会員が推薦され, これを諒承。

その他の委員会構成などについては事務局に一任することが諒承された。

企画担当氷鉋理事より, 新たな規程に基づく学術委員会の設置の提案があり, 学術委員長浅見理事, 副委員長石橋理事および大内田理事, 委員の一人として黛理事の推薦があり, これを諒承。また, 浅見令和4・5年期機関誌編集委員長の後任として木南(章)同副委員長が推薦され, これを諒承。

2. その他
特になし

V. 委員会報告

1. 学会賞選考委員会

令和6年度第2回学会賞優秀発表賞選考委員会
および令和6年度第5回学会賞選考委員会

日時：令和6年12月8日（日）10:30-11:00

場所：学術総合センター会議室 1階特別会議室
102・103号室およびオンライン（Zoom）による
ハイブリット形式

出席者：

徳永、内田、櫻井、氷鮑、藤岡、松本、水野谷（以上、現地出席）、浅見、洪澤、朝日、多和田（以上、オンライン出席）の各委員（但し、三友、藪田、吉田委員より委任状付託：以上委員14名出席）：オブザーバーとして岩見、小川、黛（以上、現地出席）、池川、崔、野崎（乃）（以上、オンライン出席）の各幹事、内村秘書（オンライン出席）

議題

1. 令和6年度第61回年次大会学会賞優秀発表賞選考の件

審議の結果、下記の会員に令和6年度日本地域学会学会賞優秀発表賞を授与することが決定された。

優秀発表賞：

加藤 雄一(筑波大学)

主題：個人のCSRやサステナビリティへの理解が職場でのコミュニケーションや仕事へのモチベーションに与える影響

洪 偉源(筑波大学)

主題：School choice problem with restricted preference lists: Relationship between stable matching and Nash equilibrium

森田 海咲樹(豊橋技術科学大学)

主題：豊橋北部地域における観光展開の可能性に関する研究

Anh Quynh TANG (University of Tsukuba)

主題：Simulation analysis for Vietnam's carbon tax and subsidy for greenhouse gas reduction options in the energy sector

辺 建隆(新潟大学)

主題：中国の農業農村におけるクリエイティブ・クラスに関する研究

殷 一格(新潟大学)

主題：中国の新型都市化建設における都市農業のあり方に関する研究—陝西省西咸新区を対象に—

Md. Masud RANA (Niigata University)

主題：Role of National Agricultural Technology Program (Phase II) for sustainable socio-economic development of rural farming community: A comparative impact assessment study from Bangladesh

信岡 洋子(筑波大学)

主題：Evaluation of Japan-financed green hydrogen project in Indonesia: Integrating macroeconomic and climate change impact

山内 翔真(筑波大学)

主題：大村湾流域における環境改善のための政策シミュレーション

小林 美佑(筑波大学)

主題：輸入飼料の価格変動がもたらす環境及び経済への影響評価と政策提言：日本を例として

最優秀発表賞選考のレフェリー2名を決定した。

2. 学会賞関連規程の改正について

徳永学会賞選考委員会委員長から、日本地域学会学会賞学位論文賞規程、日本地域学会学会賞に関する細則、日本地域学会学会賞（奨励賞・論文賞・功績賞）に関する規程の変更について説

明があり、これを了承。

3. 令和7年度学会賞選考スケジュールと方針について

水野谷学会賞選考委員会副委員長から、推薦募集について令和7年4月開催の理事会まで受け付けする予定である旨説明があり、これを了承。

2. 機関誌編集委員会報告

第81回機関誌編集委員会

日時: 令和6年12月8日(土)11:00-12:00

場所: 学術総合センター会議室 1階特別会議室 102・103号室, 及びオンライン (Zoom) によるハイブリッド形式

出席者(敬称略): 木南(章), 松本, 氷鮑, 木南(莉), 櫻井, 徳永, 水野谷 (以上, 現地出席), 浅見, 渋谷, 石橋, 鐘ヶ江, 鈴木, 高橋, 多和田, 廣野, 柳原 (以上, オンライン出席)の各委員, (ただし, 梶井, 三友, 野崎(謙), 吉田の各委員より委任状付託; 以上委員16名出席), オブザーバーとして, 内田事務局次長, 藤岡, 臼井, 河野名誉理事 (以上, 現地出席), 岩見, 小川, 黛の各幹事 (以上, 現地出席), 池川, 古澤, 野崎(乃), 崔の各幹事 (以上, オンライン出席), 内村秘書 (オンライン出席)

審議事項

1. 『地域学研究』第54巻2号, 第55巻掲載候補論文の選考

浅見委員長より, 現時点での『地域学研究』第53巻2号, 第54巻掲載決定論文について説明がなされ, これを了承。

2. 同上機関誌印刷方針

浅見委員長より, 第54巻2号が年度内の発刊予定である旨の説明があり, これを了承。

3. 2024年度年次大会報告論文の座長評価による投稿推薦について

浅見委員長より, 2024年度年次大会で行われた研究発表について座長評価に基づき『地域学

研究』への投稿推薦を行う旨説明がなされ, これを了承。

報告

1. Asia-Pacific Journal of Regional Science (APJRS)について

氷鮑企画担当理事兼 APJRS Editor in Chief より, APJRS 各号の編集および発刊状況, 採択率, CiteScore, Impact Factor について説明があった。

VI. 会費納入のお願い

日本地域学会会員各位

日本地域学会
会長 木南 莉莉

謹啓 貴会員におかれましては益々御健勝のこととお慶び申し上げます。さて, 早速ですが, 日本地域学会令和7年度会費をご請求申し上げますので,

納入期限 令和7年9月末日

までにお支払いいただけます様お願い申し上げます。なお事務局体制変更に伴い, 令和7年度以降の預金口座引落しに関しましては, 後日詳細をアナウンスさせていただきます。また, 学生会員年会費の適用には学生証(写し)の提出が必要ですので, 学生証のコピーをご提出ください。その際, ご本人様確認のため, メール本文に新しい会員ID・氏名・ご所属をご記載くださいますようお願い申し上げます。

何かと出費のかさむ折から誠に恐縮ですが, 事務処理の円滑化および再度にわたる督促の経費節減のため早めの納入にご協力いただけますよう, かせねてお願い申し上げます。

敬具

1. 令和7年度日本地域学会会費等(適用期間限定)

令和7年度(令和7年4月1日-令和8年3月

31日)

一般会員年会費 13,000円

学生会員年会費 8,000円

但し、これらの会費が適用されるのは、

- a) 納入期限(令和7年9月末日)までに上記会費を納入された日本地域学会会員の方、
 - b) 後日アナウンス予定の期日までに預金口座引落しの手続きを完了された日本地域学会会員の方、
- に限りますのでご注意ください。

2. 会費の期限内納入の特典

上記納入期限に遅れた場合には、会費関連の事務処理が煩雑となることを考慮して、日本地域学会では、

- 1) 一般会員年会費として14,000円を請求する
- 2) 学生会員年会費として9,000円を請求するという事を決定致しております。この主旨をご理解いただき、会費関連の事務処理の円滑化、経費節減にご協力頂きますよう、事務局からも重ねてお願い申し上げます。

3. Web会員

本学会機関誌『地域学研究』の電子ジャーナルを、J-STAGE(科学技術情報発信・流通総合システム)により発行しております。これにより、会員の研究成果が広く世界に向けて情報発信されております。Web会員に登録されますと、最新の論文が電子ジャーナル(本文PDF)として閲覧可能となります。Web会員登録を希望される方は、学会のホームページから、電子ジャーナル『地域学研究』個人購読者認証申込書(Web個人会員)をダウンロードしていただき、ご記入の上、事務局までお申し込みください。

Web会員価格(令和7年4月1日-令和8年3月31日)は以下ようになります。

- 1) 学会正会員である個人(Web個人会員A)年会費2,000円
- 2) 学会非会員である個人(Web個人会員B)*年会費5,000円

3) 本学会法人会員である団体もしくは機関(Web機関会員A)年会費10,000円

4) 本学非会法人会員である団体もしくは機関(Web機関会員B)*年会費40,000円

* Web個人会員BとWeb機関会員Bは、電子ジャーナル閲覧のみのサービスとなります。

4. RSAI(国際地域学会)への会員登録について

平成23年度からRSAI(国際地域学会)への会員登録の方法が変更になっております。従来より日本地域学会の会員は自動的にRSAI(国際地域学会)の会員として登録されておりましたが、会員の増加に伴う国際本部事務局の負担を軽減するため、会員情報を電子メールアドレスで管理する事になりました。したがって今後は、会費を納入する事に加え、電子メールアドレスを日本地域学会事務局に登録することが必要となります。今後も引き続きRSAI(国際地域学会)の会員となることを希望される会員で、電子メールアドレスを日本地域学会事務局に登録されていない方は、会費の納入に合わせて電子メールアドレスを事務局にお知らせください。またRSAIへの電子メールアドレスの通知に同意されない方は、日本地域学会事務局にその旨、お知らせください。

VII. 国際地域学会関連会議のお知らせ

The 19th PRSCO Summer Institute in 2025

開催日: 2025年7月24日~25日

開催地: Colombo, Sri Lanka

会場: Renuka City Hotel

大会ホームページ:

<https://regionalsciences.lk/>

VIII. 学会賞候補者推薦の募集

日本地域学会では、地域科学 (Regional Science) の発展に貢献する優れた会員の業績をたたえる為、日本地域学会学会賞を毎年授与しています。今年度も日本地域学会学会賞 (第34回) 授賞選考候補者の推薦の募集を行いますので、どうか奮ってご応募下さい。学会賞は以下の各賞からなります。

功績賞: 地域科学の進歩および学会の運営に顕著な貢献をなした会員を表彰する。

論文賞: すぐれた研究論文によって地域科学の発展に著しく寄与し、研究業績の意義や貢献が多岐である会員を表彰する。

奨励賞: 若手研究者ですぐれた研究論文を発表した会員を表彰する。

著作賞: 地域科学の発展に著しく寄与し、その意義や貢献が多岐である著作物を表彰する。

学位論文賞: 本学会会員である博士または修士課程修了者がその修了要件として提出したすぐれた学位論文を表彰する。

優秀発表賞: 年次大会においてすぐれた論文発表を行った会員に優秀発表賞を授与する。このうち最も優秀な論文発表を行った会員に最優秀発表賞を授与する。

受賞者には賞状が授与されます。

第34回日本地域学会学会賞 授賞選考候補者推薦応募要領

◇応募期限:

1) 功績賞・論文賞・奨励賞・著作賞・学位論文賞

令和7年4月末日(木)(事務局必着)

2) 優秀発表賞

年次大会発表申し込み締切日(年次大会発表申し込みと同時に行ってください)

◇応募方法: 功績賞への応募は他薦のみ、優秀発表賞への応募は自薦のみですが、その他への応募は自薦、他薦を問いません。専用の応募用紙を事務局に提出して下さい。

◇推薦資格: 推薦者は、日本地域学会会員であることが必要です。

◇受賞資格等:

1) 論文賞および奨励賞の表彰対象となる研究業績は、過去2年間(暦年)に発表したもので、その主たるものが本学会関連誌『地域学研究 (Studies in Regional Science)』, Papers in Regional Science of the RSAI 又はAsia-Pacific Journal of Regional Scienceに掲載されている論文であることが条件です。

2) 奨励賞の応募については、年齢がその表彰対象となるべき主たる研究業績の発表当時35才未満であった事が必要です。

3) 著作賞の表彰対象となる著作物については、過去2年以内に出版もしくは公表された研究図書であることが条件です。

4) 学位論文賞については、表彰の時点において修了後3年以内のもので、当該学位論文に関連した学術論文を本学会の学術セッションで発表しているか、または本学会機関誌『地域学研究』あるいはこれに準ずる専門誌に掲載または掲載可として受理されていることが条件となります。なお、年齢による制限はありません。

5) 優秀発表賞については、以下のいずれかである必要があります。①授賞対象となる論文発表の年度末において30歳以下である会員、②授賞対象となる論文発表時において大学院に在籍する会員、③年次大会のEarly-bird Session(アーリー・バードセッション)で発表する会員であり、理事会がその表彰を適当と認めた会員。更にいずれの場合も、対象となる論文の第一著者であり、かつ年次大会当日に口頭発表を行う本人である必要があります。

◇選考方法: 「日本地域学会学会賞(奨励賞・論文賞・功績賞)に関する規程」、「日本地域学会著作賞に関する規程」、「日本地域学会学会賞学位論文賞規程」、「日本地域学会学会賞優秀発表賞規程」に基づく選考委員会の審議による。決定次第、受賞者には連絡します。

◇授賞式: 第 62 回年次大会における総会 (令和 7 年 10 月 関西大学) にて執り行います。最優秀発表賞については、翌年の年次大会で執り行います。

◇応募用紙の請求: 日本地域学会事務局まで賞の種別を明記してご請求下さい。優秀発表賞については、年次大会発表申込用紙中に応募欄があります。

IX. 会員の異動

令和 5 年 10 月 9 日～令和 6 年 10 月 5 日

新入会員

正会員 46 名

阿部 正隆	新井 優希	石塚 啓太
伊藤 早紀	伊東 尋志	井上 郷平
大野 恭典	柄澤 道子	北 真収
北野 茂夫	雲然 祥子	雑賀 優衣
櫻井 謙介	佐藤 康仁	澤 厚太郎
島野 泰河	下條 孝司	新治 さくら
杉山 輝	富田 和希	長坂 高男
中村 洸太	野村 遥	橋本 幸
樋野 公宏	藤田 紗千枝	藤野 寅然
細谷 圭	本間 智士	宮下 大輔
山内 翔真	渡辺 圭史	韓 宇
洪 偉源	彭 蒂菁	章 超

李 章揚

BANG-ERA Fidelis Abu

Jafari, Fatima

Fitrio ASHARDIONO

Pipit PAJARWATI

HUSAM BIN ABDUL FATAH HARON

NGUYEN Phuong Anh

TILEGUL KYZY Aigul

Rousady Bella

TANG ANH QUYNH

退会会員

正会員 45 名

天野 雄仁	安藤 崇	井田 喜宣
板谷 雄二	井手 雅哉	伊藤 薫
伊藤 瑞子	大槻 謙	奥平 幸太郎
奥寺 葵	兼田 敏之	川廷 昌弘
清 一夫	倉橋 透	鯉江 康正
齋藤 紀子	実積 寿也	白沢 直人
永井 真由子	夏田 郁	林 浩志
廣田 昌史	福田 智久	福本 涼平
前田 典昭	松島 恭典	森島 隆晴
矢嶋 栄司	矢根 遥佳	矢部 光保
山崎 朗	山崎 和郎	山田 崇雄
山中 知彦	横田 匡俊	吉武 哲信
呉 宣兒	武 雅瑠	BE Ngoc Diep

DOUANGSAVANH SOMBATH

ISLAM MD SHAZZADUL

Liusha Mohamed

NAHAR NAZMUN

NGUYEN THI HAI HA

Rathnayakege Hemali Rathnayake

会員数

個人会員 1,026 名

名誉会員 29 名

法人会員 5 団体